長崎医療センター
NAGASAKI MEDICAL CENTER NEWS

専齋 SENSAI

2025 VOL.440
発行所
独立行政法人国立病院機構
長崎医療センター
〒856-8562
長崎県大村市久原2丁目1001-1
TEL 0957-52-3121
FAX 0957-54-0292



より良い病院づくりのために挑戦する事務部の皆さんです。

明日を担う Vol.27
・岡田 郁香（管理栄養士）

第79回 国立病院総合医学会が金沢で開催されました

TOPICS
・第20回国病久原会 総会・懇親会開催
・2026年度採用研修医 マッチング結果

外来診療担当医一覧

長與 專齋（1838年～1902年）
大村藩御殿医の家系に生まれる。緒方洪庵の適塾に学び、福澤諭吉の後を襲い塾頭となる。初代衛生局長として我が国の近代医療制度の確立に尽力した。衛生という言葉をはじめて採用したのも專齋である。專齋の生家は「宜雨宜晴亭」と呼ばれ、長崎医療センター敷地内に移築されている。

明日を担う Vol.27

当院の“明日を担う”スタッフに、work、life、そしてvisionを語ってもらいましょう。



管理栄養士
岡田（おかだ） 郁香（あやか）

profile
出身地：熊本県
好きなアイドル：SEVENTEEN

Q：日常での業務内容を教えてください。

A：入院・外来患者さんへの栄養指導や食事摂取状況や病状に応じた栄養管理を行っています。今年度は、栄養サポートチーム（NST）活動にも参加し、医師・看護師・薬剤師など多職種と連携し、週1回ラウンド・カンファレンスを行っています。低栄養状態や栄養リスクのある患者さんに対し、最適な栄養管理を行っています。

Q：最近取得した資格に関して教えてください。

A：「腎臓病療養指導士」という資格は、主に慢性腎臓病（CKD）の重症化予防・透析導入の遅延、患者さんの生活の質の向上を目的とした資格です。この資格は慢性腎臓病患者さんの生活習慣改善や療養指導を専門的に行うために、腎臓病の病態に関してはもちろんですが、看護・食事・運動・服薬など様々な生活指導の面からも学ぶことができます。CKD管理を行う上で生活習慣の改善は最も重要と言われており、それを多職種で支え包括的なCKD管理に貢献できます。

Q：資格取得に係る研修はどうでしたか。

A：普段見ることがない多職種の指導に関わることができ、とても勉強になりました。医師の診察や薬剤師の服薬指導、看護師のセルフケア指導など、どの場面においても知識はもちろんですが、患者さんの話を伺うコミュニケーションスキルの必要性を改めて考える機会になりました。また、日常の業務では食事を通して患者さんと関わることが基本ですが、講習やテキストを通して病態や薬剤の知識を学ぶことで多方面からのアプローチができ、より患者さんに説得力のある指導ができると認識できる機会になりました。



Q：経験を積み重ねる中で、職場で見える視野や気持ちに変わる事はありましたか。

A：はじめは業務をこなすことに精一杯で、検査データなどの数値を見て数値に応じた栄養管理をすることに一生懸命でした。経験を積むうちに患者さんの数値からだけでは分からない全身状態や生活背景を整理し、そこを含めた栄養管理を心がけ、自分だけでなく多職種との情報共有の中で様々な視点から食を支えることができるようになりました。しかし、変わらず大切にしていることは、口から食べるということです。様々な患者さんと関わる中で、患者さんから口から食べたい、好きなものを食べたいと言われる機会が多くあります。生きていく上で食というのは欠かせないものであり、その人らしい生活を送るためにも、「食」のサポートができるように心がけています。





Q：仕事で大切にしていることがあれば教えてください。

A：常に大切にしていることは、相手の立場に立って考えることです。特に栄養指導などの場面においては、同じ疾患であっても家族構成や生活スタイルや嗜好などに応じて、無理なく実践でき継続できる指導を心がけています。具体例を挙げ自宅での生活をイメージしやすい説明を心がけ、少しでも前向きな気持ちで食生活を送れるサポートを意識していています。また急性期では、病態の変化が早いためその場面に応じた個別化した栄養管理が必要になります。その方にあった食生活を送れるように、早期回復や合併症予防につなげられるように努めています。

第79回 国立病院総合医学会が金沢で開催されました



2025年11月7日（金）と8日（土）の2日間、金沢にて第79回 国立病院総合医学会が開催されました。当院からも40演題の発表が行われ、多くの職員が参加しました。
来年は2026年11月6日（金）～ 7日（土）横浜で開催されます。

高度救命救急センター医師　権 志成

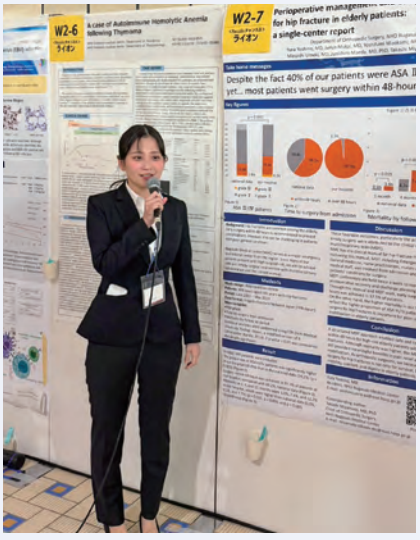
「救急現場における多職種連携の現状と課題」をテーマにシンポジウムで発表いたしました。近年、当センターでは集中治療分野におけるワーキンググループが再編され多職種にご参画頂いており、ケアバンドルを改善する取り組みも行ってきました。ケアバンドルはブラッシュアップされ網羅的で使い勝手も良いと評判です。そうした成果とともに、いかに多職種を巻き込みながらうまく活動できたかのか（自画自賛気味ですが）アピールできたかなと思っています。



研修医　吉野 由羅

「大腿骨骨折に対する当院の周術期マネジメントと早期手術」というテーマで若手英語セッションにて発表させていただきました。初めての学会発表（英語でしたし）で緊張しましたが、上級医の先生方が応援に来てくださり心強かったです。大腿骨近位部骨折は48時間以内の早期手術が良好な成績を得るために大切と言われています。日本全国のデータでは60%程度であるのに対して、当院では多職種連携と各科各部署のご理解のおかげで97.5%の患者さんで48時間以内の早期手術をおこなうことができています。これからも患者さんに「自分の足で歩ける」を届けるために各科で研修を続けたいと思います。

発表にあたり指導してくださった先生方。ドクターズクラークのお二人。研修医の皆。医局受付の皆様。ありがとうございました。



臨床検査科　黒田 拓也



不規則抗体検査試薬の検討と導入効果について発表してまいりました。不規則抗体検査は、輸血の安全性を担保するうえで重要な検査です。今回の発表では、新試薬への変更による業務の効率化やコスト削減の効果について報告いたしました。医療の進歩に伴い、臨床検査も日々進化しております。時代の流れに乗り遅れない検査室づくりを心がけ、診療の一助となる活動を今後も続けてまいります。発表に際し、ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

治験管理室　大津 貴寛



治験は新しい薬の安全性や効果を確認するために欠かせない重要な試験です。当院では、治験参加者の安全確保と薬剤の安定供給を目的に、薬剤部と連携した体制づくりを進めています。今回、私は治験業務に関する取り組みの一例を発表してきました。併用薬の準備や確認を円滑に行う仕組みを整備し、治験薬の管理ルールを明確化することで、より安全で信頼性の高い治験環境を構築しています。今後も地域医療に貢献しながら、安心して治験に参加できる体制を整え、質の高い臨床試験の推進に努めていきたいと考えております。

看護師　杉本 扇太郎

今回「頭頸部がん看護における看護師の困難感と関連要因」のテーマで発表させていただきました。初めての学会発表で緊張をしましたが、自信をもって発表することができました。学会に参加されていた方々の発表を拝見し、知識を深めることができ、今後の看護に活かしていきたいと思います。研究・発表にあたりご指導・ご協力頂いたすべての皆様に深く感謝申し上げます。



診療情報管理専門職　尾﨑 真人

当院事務部の事務DX推進チームが取り組んだQC活動「事務部作業における業務効率化の推進～スキル×コミュニケーション～」が九州グループ最優秀賞を受賞し国立病院総合医学会で事例発表を行いました。全国最優秀賞を受賞することは叶いませんでしたが、さらなるDX推進に励みたいと思います。活動にご協力いただいた事務部長を始めとする事務部の皆様方、発表に際してアドバイスをしてくださった皆様方にこの場を借りて御礼申し上げます。ありがとうございました。



医療安全管理室　西田 美咲



今回、医療安全管理室の実践報告を発表させていただきました。日頃の取り組みを客観的に見つめ直し、今後の課題を考える良い機会となり、自身の成長にもつながる貴重な経験となりました。全国の他施設での医療安全活動の実践報告や新しい知見を学ぶことができ、今後もこの経験を糧に、より安全で質の高い医療を目指していきたいと思います。今回このような機会をいただき、ご支援、ご協力いただいた皆様へ深く感謝申し上げます。

給与係　朽原 真央

給与係では昨年より、職員の人事異動や転居などの届出をスマートフォンで行える仕組みを導入しており、その成果を発表しました。

最大10枚に及んでいた手書きでの手続きをオンライン化することで、職員と給与係双方の負担を軽減することができました。



今後も職員の利便性向上と業務効率化の両立を目指していきたいです。

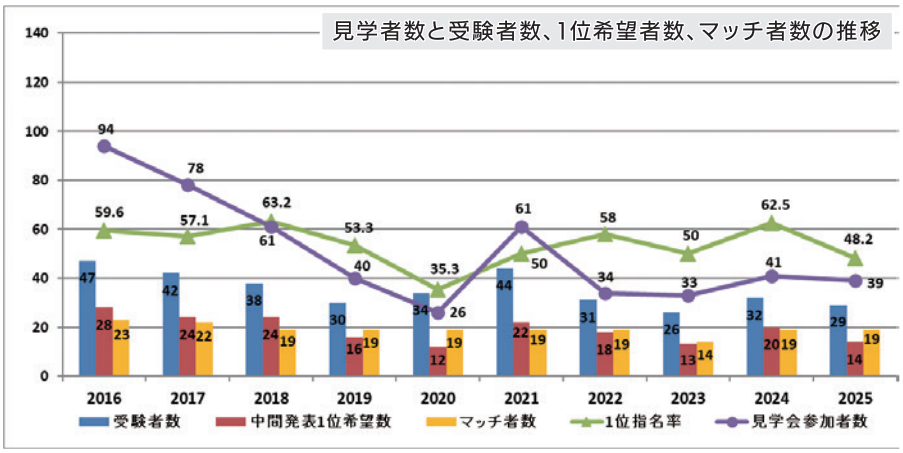
発表するにあたり、たくさんのアドバイスとご協力していただいた皆様、ありがとうございました。

TOPICS

2026年度採用研修医マッチング結果

研修管理委員長　長岡 進矢

今年度の研修医マッチングは中間発表の1位指名が14名とやや低かったですが、最終的にプライマリケア能力養成プログラム15名、周産期プログラム(小児科)2名、同プログラム(産婦人科)2名と昨年に引き続きフルマッチとなりました。来年度採用予定(第56期)は、これに自治医大の3名が加わり22名となります。内訳は長崎大 9名、佐賀大 2名、産業医大 1名、九州大2名、久留米大 2名、川崎医大2名、山梨大1名、自治医大 3名、男性16名、女性6名です。現時点での志望科は特定の科に偏ることなく、外科系、内科系幅広い志望があるようです。県内のマッチング状況は、全体では110名(昨年106名)で、今年も100名を超えました。来春、希望を持って当院へやってくる若者たちをみなさん笑顔で迎えてください。今後とも研修医教育へのご協力よろしくお願いします。



TOPICS

第20回国病久原会総会・懇親会開催

管理課長　白川 大

令和7年10月25日（土）、国病久原会の総会・懇親会が開催されました。今回は40周年を記念し、長崎インターナショナルホテルで、会員以外のOBも多数参加され、例年を大きく上回る人数となりました。

総会では米倉正大会長の挨拶に続き、髙山隼人院長による「長崎医療センターの今とこれから」と題した講演が行われ、病院の高度医療体制や地域医療への貢献、今後の方向性について分かりやすく説明されました。また、元職員の森塚倫也 診療看護師による「診療看護師（NP）の実践」では、NPの役割や地域医療・在宅医療への取り組み、南島原での訪問看護ステーション開設など、これからの医療を支える現場の実践例が紹介されました。

懇親会では世代を超えた交流が生まれ、参加者同士が親睦を深める有意義な時間となりました。ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



外来診療担当医一覧表

受付時間　8時30分～11時30分（ただし急患はその限りではありません。）

（★は新患対応）令和7年12月1日現在

		月	火	水	木	金
総合診療科		当番制	当番制	当番制	当番制	当番制
肝臓内科		★長岡　進矢 ★末廣　智之 ★児嶋　知仁 山崎　一美	★佐伯　哲 ★末廣　智之 ★釘山　有希	★小森　敦正 ★山﨑　一美 佐伯　哲	★長岡　進矢 ★本吉　康英 ★小森　敦正	★本吉　康英 ★釘山　有希
消化管内科		★西山　仁	★後藤　高介 ★峯　彩子	午前　★西山　仁 午後　★中島　悠史郎 （炎症性腸疾患 専門外来）		★中島　悠史郎 （炎症性腸疾患　専門外来） ★今村　祥子
内分泌・代謝内科		★安井　順一 ★加藤　遼 徳満　純一	★徳満　純一 安井　順一 加藤　遼	★安井　順一 徳満　純一	★徳満　純一 ★加藤　遼 安井　順一	
腎臓内科		★岡　哲 中村　麻衣子		★田川　孝樹 岡　哲	中村　麻衣子	★中村　麻衣子 田川　孝樹
循環器内科	午前	★於久　幸治	★福田　侑甫	★森　彩	★松尾　崇史 ★石松　卓（不整脈）	★深江　貴芸
	午後	★小出　俊朗	★石松　卓（不整脈） ★福田　侑甫	於久　幸治	石松　卓（不整脈）	
呼吸器内科		★原　敦子 池田　喬哉	★川嵜　光一	近藤　晃 ★池田　喬哉	★乗富　大地	★近藤　晃 原　敦子
血液内科		午前　小林　裕児 午後　★渡辺　春香	★今泉　芳孝	吉田　真一郎	午前　今泉　芳孝 午後　★小林　裕児	午前　吉田　真一郎 午後　★桐野　祐子
脳神経内科（神経内科）		★徳田　昌紘 ★佐藤　和明 足利　裕哉	岩永　洋 ★足利　裕哉	徳田　昌紘		岩永　洋 徳田　昌紘
膠原病・リウマチ内科		★岡田　覚丈		★岩永　希	★岩永　希	午後　★岡田　覚丈
小児科	午前	★本田　涼子（神経） ★桑原　義典 （心臓・一般） ★西口　奈菜子（神経・一般） 武田　敬子（新生児・乳児） 黒岩　かほり（新生児・乳児）	★本村　秀樹（心臓） ★石橋　洋子（一般・心臓） ★石橋　信弘（心臓・一般） 田中　茂樹（神経）	★青木　幹弘（新生児・乳児） ★本田　涼子（神経） ★和泉　啓（内分泌） ★桑原　義典（心臓・一般） 食物アレルギー外来	★西口　亮（新生児・乳児） ★石橋　洋子（心臓・一般） ★石川　太郎（一般） ★池田　憲呼（神経・一般）	★青木　幹弘（新生児・乳児） ★石橋　信弘（心臓・一般） ★石川　太郎（一般） 本村　秀樹（心臓） 安　忠輝（神経）
	午後	本村　秀樹（心臓） 発達外来	★本村　秀樹（心臓） 安　忠輝（神経）	一ヶ月健診 ★大学医・当番医（内分泌）	発達外来	シナジス外来
皮膚科	①外来紹介・新患	★石川　博士	★中牟田　瑠璃	★石川　博士 午後　★宿輪　哲生	★中牟田　瑠璃	★濱辺　真奈
	②旧患	中牟田　瑠璃	石川　博士	濱辺　真奈	石川　博士	中牟田　瑠璃
	③入院中の紹介	濱辺　真奈	濱辺　真奈	中牟田　瑠璃	濱辺　真奈	石川　博士
外科		★黒木　保（胆・膵） 釘山　統太 （胆・膵・一般外科）	★米田　晃 （食道・胃・一般外科） ★福井　彩恵子（一般外科） ★南　恵樹（乳腺・内分泌外科） ★森田　道（乳腺・内分泌外科）	★原　貴信（肝）	★米田　晃 （食道・胃・一般外科） 藤井　美緒（一般外科） ★南　恵樹（乳腺・内分泌外科） ★森田　道（乳腺・内分泌外科）	★竹下　浩明 （大腸・肛門・一般外科） ★大石　海道（大腸・肛門） 藤岡　ひかる （肝・胆・膵・消化器）
呼吸器外科				★田川　努 ★松本　理宗 ★堀川　修一		
心臓血管外科				★有吉　毅子男 ★嶋田　隆志		★有吉　毅子男 ★嶋田　隆志
脳神経外科		★小野　智憲 ★原口　渉	★案田　岳夫	★定方　英作	午後　原口　渉	★小野　智憲 ★後藤　純寛
整形外科・リハビリテーション科		★伊藤　勇人	★宮本　俊之（第1・3・5） （再 第2・4）	★前田　純一郎	★向井　順哉	★梅木　雅史（第2・4） （再 第1・3・5）
形成外科		★藤岡　正樹 ★吉田　大作	★吉野　健太郎	★藤原　洸平	★藤岡　正樹 ★吉田　大作	★藤原　洸平 ★吉野　健太郎
産婦人科		★古賀　恵 ★福田　雅史 プレコンセプション外来	★安日　一郎 ★山下　洋 胎児スクリーニング外来	★菅　幸恵 ★杉見　創 産褥1ヶ月検診（午後）	★五十川　智司 ★山口　純子 子宮鏡外来 ワクチン外来	★福田　雅史 ★小川　真幸 レジデント外来 NIPT 外来
泌尿器科		★大仁田　亨 鹿子木　桂	錦戸　雅春	★近藤　翼	★鹿子木　桂	★大仁田　亨 ★川島　大輝
移植後フォローアップ外来		錦戸　雅春	松屋　福蔵	錦戸　雅春		大仁田　亨
耳鼻咽喉科		★田中　藤信 ★吉田　晴郎 ★神田　悠志	★吉田　晴郎	★田中　藤信 ★前田　耕太郎 ★神田　悠志	★吉田　晴郎	★田中　藤信 ★前田　耕太郎
眼科		★前川　有紀 ★中尾　志郎 ★吉村　遥香 ★大槻　早紀 ★古田　彩子	★前川　有紀 ★中尾　志郎 ★吉村　遥香 ★大槻　早紀 ★古田　彩子	午後　中尾　志郎	★前川　有紀 ★中尾　志郎 ★吉村　遥香 ★大槻　早紀 ★古田　彩子	★前川　有紀 ★中尾　志郎 ★吉村　遥香 ★大槻　早紀 ★古田　彩子
放射線科（治療）		本多　功一 武田　達哉	★本多　功一 ★武田　達哉 中村　太祐（午前のみ）	本多　功一 武田　達哉 中村　太祐（午後のみ）	本多　功一 武田　達哉	★本多　功一 ★武田　達哉

※紹介状なしで受診を希望される患者さんにつきましては、診察料とは別に、選定療養費として7,700円をご負担いただきます。
ただし、紹介状がある場合は選定療養費（7,700円）の負担はありません。「かかりつけ医」等からの紹介状をお持ちいただきますようお願いいたします。

理　念

高い水準の知識と技術を培い
さわやかな笑顔と真心で
患者さん一人一人の人格を尊重し
高度医療の提供をめざす

長崎医療センターの使命

長崎医療センターは以下の活動を誠実に行い、地域拠点病院として住民の皆さんと医療機関からの信頼を得ることを使命としています。

- 安全で質の高い医療を提供する
- すべての医療人と学生に魅力的な教育研修を提供する
- 救急医療の最後の砦となる
- 臨床研究を推進し、国際医療協力に貢献する
- 地域の医療機関、行政と密接に連携する

外来担当医一覧の最新版は
こちらからご覧ください

長崎医療センター NEWS
NAGASAKI MEDICAL CENTER NEWS
https://nagasaki-mc.hosp.go.jp/
VOL.440